

地の利を活かした水稲生産と彼岸花まつり等で棚田景観を保全・活用

3. 江里山の棚田【佐賀県小城市】

範 囲	佐賀県のほぼ中央部に位置し、小城市小城町の北部・天山山系南側の中腹、標高 250mに広がる約 16haの水田	
所 在 地	佐賀県小城市江里山	
生 物 地 理 区 分	シイ・カシ萌芽林	
環 境 要 素	水田、畑、小川・水路、人工林	
自然条件	地 形	小城市は、北部に天山山系がそびえ、中央部は肥沃な佐賀平野が開けている。また、南部には農業用排水路のクリーク地帯が縦横に広がり、日本一の干潟・有明海に面している。江里山地区は町の北部山麓地帯に位置し、昔ながらの山麓部特有の棚田が連なっている。
	植 生・生物等	小城市は天山県立公園、ムツゴロウ・シオマネキ保護区に代表される、貴重で豊かな自然資源を有している。当地区では、9月中旬になると棚田の畦に彼岸花が咲き、美しい棚田を縁取った美しい風景が広がる。
		 <p>撮影時期：2008年9月 江里山の棚田と周辺の山々</p>  <p>撮影時期：2008年9月 秋には彼岸花が田の畦道の曲線を鮮やかに描き出す</p>
社会条件	人口(市町村)	45,153人(農家率6.8%、副業的兼業農家が多い) 小城市のデータ(H22年)
	土 地 利 用	市総面積の38.8%が田畑、25.0%が山林である。 小城市のデータ(H22年) 対象地区には、山の斜面に美しい曲線を描く約600枚の棚田が広がる。
	歴 史・文 化	“九州の小京都”と呼ばれる小城は、古い歴史を誇る佐賀平野の静かな城下町であり、市内各所には、時代の面影を残す社寺や史跡が点在している。
法 指 定、行 政 による 評 価 の 状 況	自然環境・景観保全や国土保全に関わる地域指定等	該当なし
	すぐれた自然、景観、伝統文化などとしての選定	環境省「名水百選」に選定(S60) 農水省「農村景観100選」に選定(H3) 22世紀に残す佐賀県遺産に認定(H21)。

取組主体	タイプ	地元集落等:集落、地権者など地元の関係者が中心となった取組		
	主な主体	名称	概要	
		江里山集落		
経緯	<p>小城町は、九州の小京都と呼ばれ、花と水とホテルに代表される町である。当江里山地区は町の北部山麓地帯に位置し昔ながらの山麓部特有の棚田が連なっている。</p> <p>平成4年に全国農村景観百選に選ばれたのを契機に、若者が定着し住み良い村づくりのために棚田を生かした「棚田と彼岸花の里づくり」を推進している。</p> <p>彼岸花の咲く時期には、多くの観光客が訪れるため、棚田の畦畔に咲き誇る彼岸花の美しい景観がより楽しめるよう、集落で一斉に畦畔の草刈りを実施している。9月23日には彼岸花まつりが開催され、手作りのコンニャク等も販売され好評を得ている。また、彼岸花まつりと合わせ、かかしフェスティバルも同時開催されており、「棚田と彼岸花の里、江里山」として注目されている。</p>			
支援措置	該当なし			
取組の目的・目標	若者が定着する住みよいむらづくりをめざして、「棚田と彼岸花の里づくり」に力を入れている。			
取組分野・内容	農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化	<p>江里山集落は、現在中山間地域等直接支払交付金の助成金を活用し、農業用の水路や農道の除草や修繕などの維持管理のほか、遊休農地等の発生防止にも努めている。また、棚田の地形や水源に近いきれいな水を利用して佐賀県特別栽培農産物(1)の認定を受けた水稻の生産に取り組んでいる。</p> <p>1 栽培期間中、化学合成農薬の使用回数と化学肥料の使用量を、県内の一般的な栽培方法(いわゆる慣行栽培)に比べ、5割以下に低減して栽培された農産物について佐賀県が認証。</p>		
	バイオマスなど新たな資源としての利用	<p>【対象となる資源】</p> <p>該当なし</p>		
	環境教育や自然体験、エコツアーリズムの場としての利用	自然観察会	該当なし	
		環境教育・学習活動		
		里地里山体験・環境保全		
		農林業体験活動		
		エコツアー		
その他				
野生動植物やその生息地の保全・管理	該当なし			
地域の良好な景観の保全・修復	毎年9月上旬、江里山集落の住民で棚田の畦畔の一斉除草作業を実施する。9月20日以降は彼岸花が咲き乱れ、毎年9月23日に彼岸花まつりを開催している。			
里地里山の伝統的な生活文化の知恵や技術の継承	対象	生活行事	うまつい(大祭り) 【文化財指定】 なし	
		資源利用技術		
		その他		
<p>うまつい:江里山の氏神である聖真子大権現様に対する1年間のご守護のお礼のお祭り。お供え、しめ縄などを準備し、伝統食である鯛の炭火焼き、ひばんしゅ、おなます、赤飯をいただく。</p> <p>江里山「おばあちゃんの食べ物伝承塾」:江里山の伝統食である“ひばんしゅ”や“江里山こんにゃく”などの作り方を伝えるとともに、年中行事やその食について学ぶ。</p>				
連携・協働	彼岸花まつりの日程にあわせて、行政はかかしフェスティバル(かかしコンテストに出品された作品の展示を実施している。)を同地区で開催する。また、まちづくり団体主催による棚田コンサートも同日同場所で開催されている。			



撮影時期:2005年9月

江里山・彼岸花まつりの「かかしフェスティバル」(小城市HPより)

撮影時期:

景観としての
利用・評価

風景探勝や撮影の来訪者が多い
市のHPに掲載

取組の特徴

地域住民が主体となった棚田耕作の維持・継続により、景観の保全が図られている。
中山間地域等直接支払交付金の助成金を活用した、農業用の水路や農道の除草や修繕などの維持管理のほか、遊休農地等の発生防止にも努めている。また、特色ある米づくりとして、棚田の地形や水源に近いきれいな水を利用し「佐賀県特別栽培農産物」の認定を受けた水稻の生産に取り組んでいる。秋には畦畔の一斉除草作業を行い、彼岸花まつりを開催するほか、「おばあちゃんの食べ物伝承塾」など伝統食の継承にも力を入れている。

【参照資料】

小城市HP (<http://www.city.ogi.lg.jp/index.jsp>)

さが棚田ネットワーク (http://www.pref.saga.lg.jp/web/_35883.html)

地域情報サイト「ワクワク！おぎ」 (<http://www.wakuwaku-ogi.com/index.html>)

「第11回美しい日本のむら景観コンテスト」HP (<http://www.maff.go.jp/soshiki/koukai/muratai/21j/keikan.html>)

佐賀県HP (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/>)